

略 歴

1943 年 4 月 21 日 大阪府大阪市に生まれる
1967 年 3 月 神戸大学経営学部卒業
1968 年 4 月 神戸大学大学院経営学研究科修士課程入学
1970 年 3 月 神戸大学大学院経営学研究科修士課程修了
1970 年 4 月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程入学
1971 年 3 月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程中途退学
1971 年 4 月 和歌山大学経済学部助手に採用
1973 年 4 月 和歌山大学経済学部講師
1975 年 4 月 和歌山大学経済学部助教授
1985 年 4 月 和歌山大学経済学部教授
1993 年 4 月 和歌山大学評議員（併任，1995 年 3 月まで）
1995 年 4 月 和歌山大学経済学部長（併任，1997 年 3 月まで）
1997 年 4 月 和歌山大学附属図書館長（併任，1999 年 3 月まで）
1999 年 4 月 和歌山大学評議員（併任，2001 年 3 月まで）
2001 年 4 月 和歌山大学副学長（併任，2002 年 7 月まで）
2002 年 8 月 和歌山大学長
2004 年 4 月 国立大学法人和歌山大学長
2009 年 7 月 任期満了により退官

非常勤講師として出講した大学

関西学院大学，摂南大学，大阪産業大学，大阪明浄女子短期大学

所属学会

日本経営学会（1999 年～ 2002 年，日本経営学会誌編集委員），組織学会，日本労務学会，
経営哲学学会

その他公職（主として学長就任以後の活動）

- 1996.06 ～ 2007.06 和歌山地域経済研究機構理事長
- 2000.04 ～ 2007.03 テレビ和歌山「和歌山経済マガジン」コメンテーター
- 2002.08 ～ 2003.07 和歌山県立医科大学のあり方懇談会委員
- 2002.08 ～ 2009.07 (財)大阪湾ベイエリア開発推進機構評議員
- 2002.08 ～ 2009.07 (財)和歌山県国際交流協会理事
- 2002.08 ～ 2009.07 和歌山市文化表彰選考委員会委員
- 2002.11 ～ 2004.06 和歌山 / ラインラント・ファルツ協会会長
(後に和歌山日独協会に改名)
- 2002.11 ～ 2009.07 高等教育機関コンソーシアム和歌山会長
- 2003.04 ～ 2004.03 (財)関西地区大学セミナーハウス評議員
- 2003.04 ～ 2004.06 (財)大阪科学技術センター評議員
- 2003.08 ～ 2004.07 和歌山技術交流推進協議会委員（副会長）
- 2003.10 ～ 2004.10 全国マルチメディア祭 2004 in わかやま実行委員会委員
- 2004.06 ～ 2006.03 (独)国立大学財務・経営センター 大学トップマネジメントセミナー企画委員
- 2004.07 ～ 2009.06 (財)大阪科学技術センター理事
- 2005.07 ～ 2006.03 特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム理事
- 2006.03 ～ 2007.09 (財)雑賀技術研究所顧問
- 2006.04 ～ 2009.07 特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム副理事長
- 2006.04 ～ 2008.12 近畿学生野球連盟会長
- 2006.04 ～ 2009.07 (社)国立大学協会「経営支援委員会」委員
- 2006.11 ～ 2008.03 きしわだ都市政策研究所「岸和田再生まちづくり懇話会」委員
- 2007.04 ～ 2008.03 (社)国立大学協会「21世紀の国立大学を考える委員会」委員
- 2007.07 ～ 2008.03 和歌山県「新たな和歌山県長期総合計画策定にかかる有識者会議」委員
- 2007.07 ～ 2008.03 (社)国立大学協会「組織運営体制等検討ワーキング・グループ」委員
- 2007.07 ～ 2009.07 和歌山県「第70回国民体育大会和歌山県準備委員会」委員
- 2007.08 ～ 2008.03 クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会委員

- 2007.10 ～ 2008.03 和歌山県「和歌山県地域産業活性化協議会」委員
2008.08 ～ 2009.07 (社)発明協会和歌山県支部創立 60 周年記念式典実行委員会顧問

— 現 職 —

- 2002.09 (財)和歌山社会経済研究所理事
2002.09 NPO Wakayama Business Support Club 会長
2003.04 (財)紀陽文化財団理事
2004.07 和歌山日独協会会長
2005.07 和歌山県市町村合併推進審議会委員 (会長)
2006.04 和歌山バイオサイエンス協議会顧問
2006.05 泉北ニュータウン学会会長
2006.07 和歌山日米協会特別顧問
2006.10 (株)紀陽ホールディング「経営諮問委員会 (アドバイザーリーボード)」委員
2007.04 国土交通省近畿地方整備局「近畿圏広域地方計画学識者会議」委員
2007.06 (財)和歌山社会経済研究所理事長
2007.10 和歌山日仏協会顧問
2007.12 (財)雑賀技術研究所評議員
2008.04 和歌山県「和歌山県地域産業活性化協議会 (紀中・紀南地域)」委員
2008.06 和歌山放送「番組審議会」委員
2008.06 (社)全国旅行業協会理事

著 作 目 録

〔1〕著 書

西独経営経済組織学研究	千倉書房	1982年5月
マネジメントの系譜と今日的課題	日本マンパワー	1990年5月
— 編 著 —		
日本的経営とドイツ的経営 (大橋昭一・小田章・G. シャ ンツ編著)	千倉書房	1995年6月
日本的経営の解明(大橋昭一・ 小田章編著)	千倉書房	1995年6月
経営学への旅立ち (小田章編 著)	八千代出版	2001年4月

〔2〕学会誌掲載論文

経営経済組織学の目標と対象	日本経営学会編『現代企業 の諸問題 (経営学論集; 第 52集)』(千倉書房)	1982年9月
企業体制に関する一考察 —労働支配企業の存立可能性 について—	日本経営学会編『政府と企 業 (経営学論集; 第55集)』 (千倉書房)	1985年9月
経営参加と企業体制—パート ナーシップ企業体制再考—	日本経営学会編『産業構造 の転換と企業経営 (経営学 論集; 第59集)』(千倉書房)	1989年9月
日本的経営とドイツ的経営の 比較	日本経営学会編『世界の中 の日本企業 (経営学論集; 第64集)』(千倉書房)	1994年9月

日本の大学は組織といえるか ～国立大学法人化の意義と運 営上の問題点～	『経営哲学』第2集（経営 哲学学会）	2005年8月
---	-----------------------	---------

〔3〕論 文

経営組織の分権化と人間	『経済理論』第127-131合 併号	1972年11月
組織の経営経済学的分析	『経済理論』第133号	1973年5月
組織行動の理論に関する一考察 —マークの所論を中心にして—	『経済理論』第137号	1974年1月
分権的経営組織の形成につい て	『経済理論』第139-140合 併号	1974年7月
経営組織論の対象	『経済理論』第144号	1975年3月
経営経済学と人間像 —グーテンベルク経営経済学 と人間像—	『経済理論』第155号	1977年1月
経営経済組織学の目標	『経済理論』第158号	1977年9月
経営経済学における人間像(2)	『経済理論』第171号	1979年9月
現代企業における労働者の意 識構造について	『経済理論』第176号	1980年7月
「労働の人間化」と職場にお ける共同決定	昭和54年度特定研究報告 書『新しい時代の企業像』 (和歌山大学経済学部)	1980年9月
経営経済組織学の方法(1)	『経済理論』第177号	1980年9月
経営経済組織学の方法(2)	『経済理論』第178号	1980年11月
経営経済組織学の方法(3)	『経済理論』第179号	1981年1月
「労働の人間化」と職場にお ける共同決定	市原季一先生追悼記念事業 会編『ドイツ経営学研究』 (森山書店)	1981年9月

企業体制に関する一考察 － arbeitsgeleitete Unternehmung の存立可能性について－	『経済理論』第199号	1984年5月
西独における共同決定制度と 企業の労務管理へのその影響	昭和60年度特定研究報告書『現代労使関係の形成と構造』(和歌山大学経済学部)	1986年3月
組織形成と人間	市原ゼミナール研究会編『経営と人間』(森山書店)	1987年12月
経営参加と企業体制	『経済理論』第223号	1988年5月
企業体制と労使間コミュニケーション	『経済理論』第225号	1988年9月
従業員自主管理企業体制の特質と 存続可能性について －ポルスト社の改革モデルを中心にして－	『経済理論』第230号	1989年7月
現代企業における従業員の意識構造 －ある飲料会社における実態調査を中心にして－	『経済理論』第240号 ＜竹内昭浩氏・床井浩平氏との共著＞	1991年3月
現代企業の社会的役割と貢献	平成3年度特定研究報告書『企業と社会の新しい関係システムの構築可能性』(和歌山大学経済学部)	1992年4月
経営参加と協働	『経済理論』第247号	1992年5月
戦後における日本人の価値および意識構造	大橋昭一・小田章・G. シャンツ編著『日本的経営とドイツ的経営』所収(第23章)	1995年6月
戦後における日本人の価値および意識構造	大橋昭一・小田章編著『日本的経営の解明』所収(第12章)	1995年6月

和歌山県地域における企業にかんする研究：企業活性化のための指針と和歌山大学のはたす役割	『地域研究シリーズ 11』(和歌山大学経済研究所) ＜吉村典久氏との共著＞	1996 年 3 月
従業員価値観の変化と企業体制－日本企業を中心にして－	『経済理論』第 271 号	1996 年 5 月
日本的経営とドイツ的経営の比較	『研究年報』第 1 号 (和歌山大学経済学部)	1997 年 7 月
企業体制の制度と実態の乖離－コーポレートガバナンス論の視点から－	『経済理論』第 295 号	2000 年 5 月
起業の条件	小田章編著『経営学への旅立ち』所収 (第 1 章)	2001 年 4 月
個人企業から会社企業への時代	同上 (第 2 章)	2001 年 4 月
大学のシンクタンク化	『地域研究交流』vol.60 (地方シンクタンク協議会)	2003 年 9 月
松下幸之助翁と経営学！	『論叢 松下幸之助』第 8 号 (PHP 研究所)	2007 年 10 月
『和歌山大学観光学部設置記念論集』の刊行に寄せて	『和歌山大学観光学部設置記念論集』(和歌山大学観光学部)	2009 年 3 月
和歌山大学《観光学部》設置の経緯とその概要	『和歌山大学観光学部設置記念論集』(和歌山大学観光学部)	2009 年 3 月

〔4〕翻 訳

カール・ハックス『西独における企業の人事・労務政策』	千倉書房	1985 年 2 月
ギュンター・シャント『西ドイツ経営学の新潮流』	小田章・岡部政昭・渡辺朗, 共訳, 千倉書房	1989 年 7 月

E. グロツホラ『組織理論入門』	清水敏允・小田章, 共訳, 文眞堂	1989年11月
M. シューマン「ドイツ企業における生産コンセプトと合理化戦略」	大橋昭一・小田章・G. シヤンツ編著『日本的経営とドイツ的経営』所収(第6章)	1995年6月
W. シュラーフケ「ドイツにおける企業内教育」	同上(第20章)	1995年6月
W. ヘルベルト「ドイツにおける従業員の価値志向」	同上(第24章)	1995年6月
J. ベッカー「ドイツ企業におけるマーケティング戦略」	同上(第25章)	1995年6月

〔5〕研究資料・調査研究報告書

和歌山県下企業における従業員の資本参加について—新しい企業体制の在り方を求めて—	『地域研究シリーズ2』(和歌山大学経済研究所)	1985年5月
大学における経営学実務教育方法の実態とその改善	『昭和61年度教育方法等改善経費による研究報告書』 ＜津田秀雄氏との共著＞ (和歌山大学経済学部)	1987年3月
決定システムと労使間コミュニケーション	『社会・経済システム』第6号(社会・経済システム学会)	1988年10月
和歌山県：地域新産業の育成(初年度調査)	財団法人和歌山社会経済研究所・和歌山大学経済学部小田研究室＜小田・岡橋・吉村＞	1996年6月
『和歌山県におけるベンチャービジネス創出の諸条件に関する研究』	和歌山経済同友会・和歌山大学経済学部	1997年7月
『提言 紀淡連絡道路を実現し和歌山地域の活性化をはかるためのグランドデザイン』	和歌山地域経済研究機構受託研究報告書(和歌山商工会議所)	1998年8月

〔6〕辞典執筆項目

「最適規模」ほか 12 項目	占部都美編著『経営学辞典』 (中央経済社)	1980 年 8 月
「パラダイム論」	神戸大学経営学研究室編 (編集代表: 占部都美, 海道進)『経営学大辞典』(中央経済社)	1988 年 7 月

〔7〕書 評

吉田和夫・大橋昭一編著 『基本経営学用語辞典』	『関西大学商学論集』第 39 巻第 2 号 (関西大学商学会)	1994 年 6 月
----------------------------	------------------------------------	------------

〔8〕その他

— 学内定期刊行物 (挨拶文等) —

和歌山大学学報 (年 4 回)	第 220 号 (2002 年 10 月) ～第 247 号 (2009 年 7 月)
アヴニール (基本年 3 回)	第 9 号 (2002 年 12 月) ～第 17 号 (2009 年 3 月)
和歌山大学概要 (年 1 回)	2003 (2003 年 7 月) ～2004 (2004 年 6 月)
和歌山大学大学案内 (年 1 回)	2005 (2004 年 6 月) ～2009 (2008 年 9 月)
プレジデントレター (基本月 1 回)	No.1 (2002 年 9 月) ～No.50 (2009 年 7 月)
和歌山大学メールマガジン (月 1 回)	創刊号 (2008 年 12 月) ～第 6 号 (2009 年 7 月)
学園だより (年 1 回)	2003 (2003 年 3 月) ～2004 (2004 年 3 月)
和歌山大学国際教育研究セン ター年報 (年 1 回)	創刊号 (2005 年 3 月) ～第 5 号 (2009 年 3 月)

和歌山大学環境報告書（年1回）	2006（2006年9月） ～2008（2008年9月）
和歌山大学オンリー・ワン創成プロジェクト報告書（年1回）	2006（2006年12月） ～2008（2008年12月）
和歌山大学教員プロフィール（隔年）	2006（2006年6月），2008（2009年2月）
和歌山大学地域貢献報告書（年1回）	2008（2008年6月）
留学生卒業アルバム（年1回）	2003（2003年） ～2009（2009年）
学長杯 留学生による日本語スピーチコンテスト（年1回）	第1回（2004年5月） ～第3回（2006年3月） 第6回（2009年3月）
英語弁論大会パンフレット（和歌山大学 ESS）（年1回）	2002（2002年11月） ～2007（2007年11月）
黒潮（和歌山大学体育会：新入生歓迎情報誌）（年1回）	2003（2003年4月） ～2009（2009年4月）
桜雪（和歌山大学文化部連合会：新入生歓迎情報誌）（年1回）	2004（2004年4月） ～2009（2009年4月）
和大祭パンフレット（和歌山大学和大祭実行委員会）（年1回）	2003（2003年10月） ～2008（2008年10月）
寮祭パンフレット（年1回）	2003（2003年6月） ～2009（2009年6月）
滋和戦パンフレット（年1回）	2003（2003年6月） ～2009（2009年6月）
柑芦（年1回）	2003年版（第33号：2002年10月） ～2009年版（第39号：2008年9月）
柑蘆ニュース（年1回）	2003年（第19号）（2003年4月） ～2009年（第25号）（2009年4月）

— 学外定期刊行物 —

- 理事長挨拶（年 1 回） 「地域経済」（和歌山地域経済研究機構）
創刊号（1997 年 4 月）
～第 6 号（2002 年 6 月），
第 8 号（2004 年 8 月）
～第 10 号（2007 年 3 月）
- 会長挨拶（年 2 回） 「近畿学生野球リーグ戦パンフレット」
（近畿学生野球連盟）
2006 春季（2006 年）
～ 2008 秋季（2008 年）

— その他（学内刊行物等） —

- 人生の成長は学びから！ 「和歌山大学生涯学習ニュー
ス」第 13 号（和歌山大学生
涯学習教育研究センター） 2003 年 1 月
- 新版 50 号を記念して 「和大新聞会新版第 50 号発行
記念誌」（和歌山大学新聞会） 2003 年 4 月
- 教育学部創立百三十周年に寄
せて 「紀学同窓会会報」第 25 号 2005 年 9 月
（教育学部創立 130 周年）
（紀学同窓会）
- システム工学部創設 10 周年
を記念して！ 創立十周年記念誌『道しる
べ あれから十年 これか
ら十年』（和歌山大学シス
テム工学部） 2005 年 10 月
- 和歌山大学バトミントン部
OB 会創立 50 周年を祝って！ 「和歌山大学バトミントン
部 OB 会創立 50 周年記念
誌」（和歌山大学バトミ
ントン部 OB 会） 2006 年 1 月
- 養護学校創立 30 周年を記念
して 『創立 30 周年記念誌』（和
歌山大学教育学部附属養護
学校） 2006 年 11 月

より高度な知見への誘い	「和歌山大学大学院システム工学研究科 博士後期課程への誘い」(和歌山大学大学院システム工学研究科)	2006 年 12 月
ご挨拶	『紀学同窓会会員名簿』(紀学同窓会)	2007 年 9 月
『クリスの和歌山大学留学』刊行に寄せて！	『クリスの和歌山大学留学』(和歌山大学国際教育研究センター)	2008 年 3 月
第 30 回大会会長挨拶	「第 30 回全国国公立大学空手道選手権大会」(和歌山大学体育会空手道部)	2008 年 10 月
挨拶文	「和歌山大学混声合唱団第 60 回定期演奏会」(和歌山大学混声合唱団)	2008 年 12 月
和歌山大学体育会発足 50 年を迎えて！	『和歌山大学体育会 50 周年記念特集号』(和歌山大学体育会)	2009 年 7 月
— その他 (学外刊行物等) —		
「日独企業経営の比較研究」を終えて	「学術月報」第 48 巻第 10 号 (日本学術振興会)	1995 年 10 月
平成 11 年度事業中間報告「若者に魅力ある都市創造、都市環境づくりについて」	「地域経済」第 4 号 (和歌山地域経済研究機構)	2000 年 4 月
平成 12 年度事業報告「観光戦略研究会について」	「地域経済」第 5 号 (和歌山地域経済研究機構)	2001 年 4 月
平成 13 年度事業中間報告「観光戦略研究会の研究経緯」	「地域経済」第 6 号 (和歌山地域経済研究機構)	2002 年 6 月
巻頭言「地域の国際化と留学生」	「和歌山の留学生 きのくに」第 14 号 (和歌山地域留学生等交流推進協議会事務局)	2003 年 12 月

『国立大学に黒船襲来』	「きんざい」 No. 117（近畿財務局）	2004 年 1 月
巻頭言「国立大学法人の授業料値上げと改革！」	「21 世紀 WAKAYAMA」vol.45（財団法人和歌山社会経済研究所）	2005 年 3 月
民産金学（地域住民・産業・金融・大学）の連携で地域を再生！	報告書「生活環境と融和する観光地区再生に関する共同研究」（地域活性化プロジェクト in 和歌山 和歌の浦活性化共同研究委員会）	2006 年 6 月
観光による地域再生の可能性～和歌山大学経済学部観光学科設置の意義～	「地域経済」第 10 号（和歌山地域経済研究機構）	2007 年 3 月
祝辞「《阪和育英会》創設 50 周年を祝して！」	『阪和育英会五十年史』（財団法人阪和育英会）	2007 年 8 月
ご挨拶	「21 世紀 WAKAYAMA」vol.53（財団法人和歌山社会経済研究所）	2007 年 12 月
序文『川柳は 喜怒哀楽を映すなり』	岬川柳会 15 周年記念句集「みさき」（岬川柳会）	2008 年 4 月
放送大学和歌山学習センター開設 10 周年をお祝いして	「放送大学和歌山学習センター開設 10 周年記念誌」（放送大学和歌山学習センター）	2008 年 10 月
「気骨の人、築野政次氏を語る」	築野富美編『築野政次 後世に遺したい事』（築野食品工業株式会社）	2009 年 4 月
— 新聞への寄稿文 —		
交遊抄「エポックパーソン」	日本経済新聞	1997 年 2 月 1 日

産学ナビ NEXT 第 10 回	毎日新聞	2004 年 2 月 13 日
ビタミン G コーナー 「観光 を学べる大学づくり」	読売新聞	2004 年 11 月 29 日
祝 和歌山大学経済学部観光 学科開設	わかやま新報	2007 年 4 月 5 日
祝 関西国際空港 第 2 滑走 路オープン 「関空第 2 滑走路の供用と地 域再生」(関西国際空港の第 2 滑走路供用開始記念特集)	ニュースせんなん	2007 年 8 月 4 日
ほのぼののコーナー コラム “心に届いた言葉” 「終わり良ければすべてよし」	読売新聞	2008 年 2 月 4 日
地域共同研究センター設立 10 周年記念企画記事 「地域 共同研究センターの 10 年を 振り返って！」	毎日新聞	2008 年 11 月 21 日
新春特集年頭所感	毎日新聞	2009 年1月3日 (2009年新春号)

〔9〕その他社会貢献活動（主として学長就任以後の活動）

— 講演 —

A コープ	日本経済再生と日本的経営 の新パラダイム	2001 年 6 月 12 日
市町村合併をともに考える全 国リレーシンポジウム 2001 in 和歌山		2001 年 8 月 25 日
日高港振興セミナー『地域の 元気は港から in 日高』	地域の元気は港から	2002 年 11 月 28 日

市町村合併をともに考えるセミナー	市町村合併とまちづくり	2003 年 2 月 8 日
和歌山県政経文化懇話会講演会	地域活性化と大学の役割 —大学改革の視点から—	2003 年 5 月 13 日
ホテルグランヴィア和歌山葵会定時総会	大学改革と地域蘇生	2003 年 6 月 6 日
海南市・下津町新市まちづくりフォーラム	市町村合併とまちづくり	2003 年 8 月 24 日
近畿オリパス会 定期総会	企業経営の保守と革新	2003 年 10 月 10 日
和歌山県浄化そう協会法人許可 40 周年記念式典	和歌山の発展可能性について —地域と大学の関わりを中心に—	2004 年 2 月 4 日
和歌山商工会議所講演会	和歌山の活性化と大学の役割	2004 年 4 月 14 日
自由民主党政策グループ「新しい波」トップセミナー IN KOYASAN	日本の組織における支配者は誰か	2004 年 11 月 13 日
橋本市 = 和歌山大学連携プロジェクト「第 1 回 SOHO 学習会」	(ベンチャービジネスについて)	2004 年 11 月 29 日
和歌山県立医科大学内科学第一講座開講 60 周年記念式典及び南條輝志男先生教授昇任 15 周年記念	大学のガバナンスについて	2005 年 1 月 23 日
2005 新春経済講演会	和歌山県経済と中小企業の役割 Competition & Collaboration (競争と連携)	2005 年 1 月 26 日
和歌山アゼリアロータリークラブ例会卓話	弱小大学の生き残り戦略	2005 年 1 月 31 日

小中高教育実践発表会・教育講演会	官の意識か民の意識か ～教員は聖職者か労働者か～	2005 年 2 月 5 日
東北財経大学講演会	中国の経済と日本の経済	2005 年 3 月 8 日
和中桐蔭同窓会	和大における観光学部設置 は地域振興の起爆剤となり うるか	2005 年 10 月 22 日
柑芦会大阪支部人生塾 特別講演	和歌山大学の将来—観光学 部設置の可能性—	2006 年 3 月 27 日
つばさの会・和歌山総会	まちづくりにおける女性の 役割	2006 年 4 月 2 日
第 58 回和歌山県連合小学校 長会研究協議会和歌山大会	日本の教育の将来について (日本における教育の現状 と将来)	2006 年 5 月 9 日
異業種研鑽会第 6 回講演会	活気ある地域づくりへの チャレンジ	2006 年 6 月 8 日
田辺中小企業懇話会	経営者の条件	2006 年 8 月 4 日
長坂政策研究会政経懇談会	和歌山県の観光と大学の役 割について	2006 年 12 月 2 日
新風会議員連盟合同研修会	日本の高等教育の将来につ いて	2007 年 6 月 3 日
国大協 21 世紀の国立大学 を考える委員会	国立大学法人和歌山大学の 現在と未来	2007 年 7 月 11 日
山中・小川公認会計事務所創 設 55 周年記念講演会	観光学部設置は地域ルネッ サンスの切り札となるか	2007 年 7 月 13 日
「山水会」(大阪ホテル業界交 流会) 7 月例会	和歌山大学の観光学部が目 指すところ	2007 年 7 月 19 日
柑芦会東京支部平成 19 年度 総会	和歌山大学観光学科の経 緯・現状・将来構想について	2007 年 11 月 15 日

柑芦会三重支部平成 19 年度 総会	和歌山大学観光学科の経 緯・現状・将来構想について	2007 年 11 月 17 日
第 7 回和歌ノ浦シンポジウム 『地域経済の発展に寄与する まちづくり』	地域経済の発展に寄与する まちづくり	2007 年 11 月 19 日
紀ノ川学カフェ『紀ノ川流域 の資源をいかす』	伊都地域を活性化するには	2007 年 11 月 29 日
神戸大学 67 会 40 周年記念同 窓会	地方国立大学の生き残り策 ～和歌山大学観光学部が目 指すところ～ 和歌山大学 のオンリーワン戦略と国立大 学法人初の観光学部の設置	2007 年 12 月 2 日
和歌山の観光のこれからを考 える	観光における大学の役割	2007 年 12 月 16 日
上海市農業科学院	日本の観光とその推進に対 する大学の役割	2007 年 12 月 20 日
宝塚市議会議員研修会	21 世紀のフロンティア『観 光を科学する』	2008 年 1 月 23 日
関経連 文化・観光委員会	観光に対して大学が果たす 役割～観光人材育成と地域 づくりの取組み～	2008 年 2 月 13 日
和歌山県議会議員研修会	和歌山大学観光学部の現状 について	2008 年 6 月 23 日
柑芦会神戸支部「ぶらくり会」 7 月例会	観光学部設置秘話	2008 年 7 月 8 日
和歌山大学・中小企業基盤整 備機構近畿支部主催公開講座 「変革する時代への挑戦」	地域中小企業への期待と大 学の役割	2008 年 7 月 13 日
(社) 日本経団連観光委員会	観光人材育成の現状と課題 —和歌山大学の取組み—	2008 年 7 月 29 日

岸和田市教育委員会校長研修会	教育の原点と学校経営について	2008 年 8 月 1 日
経紀塾第 1 回	地域中小企業への期待と大学の役割	2008 年 8 月 1 日
和歌山南ロータリークラブ例会	観光学部について	2008 年 8 月 29 日
第 38 回土木計画学研究発表会	観光振興と地域再生 ～和歌山大学観光学部への期待とその役割～	2008 年 11 月 2 日
新翔高校創立 90 周年記念式典	人生と学び	2008 年 11 月 8 日
紀州林業懇話会総会	観光振興と地域再生 ～和歌山大学観光学部への期待とその役割～	2008 年 11 月 11 日
海南納税協会・海優会講演会	観光振興と地域再生 ～和歌山大学観光学部への期待とその役割～	2008 年 11 月 25 日
柑芦会東海支部総会	和歌山大学の近況	2008 年 11 月 29 日
和歌山調停懇話会一般研修	和歌山大学観光学部への期待とその役割	2009 年 1 月 15 日
和歌山大学「地域再生システム論」 本学観光学部の開設と地域再生（小田学長、大橋観光学部長）	「地域再生システム論 —観光を通じた地域再生モデル—」の開講にあたり	2009 年 2 月 10 日
平成 20 年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業「和歌山市文化芸術によるまちづくりシンポジウム」	和歌山市文化芸術によるまちづくり	2009 年 3 月 20 日
まちづくりシンポジウム	有田市地域の活性化	2009 年 3 月 28 日

和歌山日独協会総会	ドイツの思い出	2009 年 3 月 31 日
七和会（和歌山大学第 7 期卒業生同窓会）卒業 50 周年記念同窓会	和歌山大学の近況	2009 年 4 月 16 日
和歌山城南ロータリークラブ例会	和歌山の発展に必要なこと	2009 年 4 月 16 日
（独）経済産業研究所 BBL（Brown Bag Lunch）セミナー	観光学部の設置とその概要	2009 年 4 月 28 日
経済産業省、大連市旅遊局、全国旅行業協会、日本旅行業協会主催 「日中 桜・アニメフェスティバル」 親善講演会（東北财经大学）	日中友好の更なる深化のために！	2009 年 5 月 9 日
FCG 総研 広報セミナー 大学経営における広報戦略と危機管理広報	オンリーワンの大学を目指して、和歌山大学の改革	2009 年 5 月 11 日
柑芦会東海支部・三重支部合同セミナー	和歌山大学での 40 年	2009 年 5 月 23 日
和歌山ロータリークラブ例会	和歌山の活性化	2009 年 5 月 26 日
和歌山大学附属小学校同窓会	日本の教育に想うこと	2009 年 6 月 14 日
妹背山海禪院・徳川期伽藍復興事業	万葉ロマンのルネサンス	2009 年 7 月 3 日
柑芦会大阪支部総会	和歌山大学での 40 年	2009 年 7 月 4 日
小田学長退任記念講演会	和歌山大学生活 38 年 4 ヶ月及び学長在職 7 年を振り返って	2009 年 7 月 28 日

— パネリストとして参加 —

大学関西フォーラム第5回懇話会	教育力を問う	2003年 12月5日
平和と国際協力について考えるイベント 「ピーストークマラソン 2003-2007 in 和歌山」	市民レベルで国際協力	2004年 6月12日
和歌山市内9クラブ INTERCITY MEETING	地域の活性化	2004年 10月30日
和歌山放送情報懇談会『紀伊山地の霊場と参詣道世界遺産登録シンポジウム』	世界遺産登録でどう描く観光立県和歌山	2004年 12月10日
大学関西フォーラム第11回懇話会	2007年大学入試を検証する	2007年 5月8日
有田建築設計事務所協会設立25周年記念建築展パネルディスカッション	和歌山の地から'有田'の力を	2007年 10月14日
未来への国際展望 ～学術シンポジウム～ in 串本 2009	未来への国際展望	2009年 3月10日
観光カリスマ講座	観光振興と地域再生	2009年 3月19日
FCG 総研 広報セミナー 大学経営における広報戦略と危機管理広報	経営と一体化した広報戦略	2009年 5月11日

— コーディネーターとして参加 —

市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム 2000 in 和歌山	2000年 11月1日
-------------------------------------	----------------

紀勢本線活性化フォーラム— —紀勢本線の高速化と活性化 を目指して—		2000 年 11 月 17 日
地域連携シンポジウム「奥熊 野 21 世紀連携による地域づ くり」	奥熊野 21 世紀連携による 地域づくり	2000 年 11 月 25 日
日高港振興シンポジウム「21 世紀を拓く港づくり in 日高」		2000 年 12 月 4 日
市町村合併をともに考える全 国リレーシンポジウム 2001 in 和歌山		2001 年 8 月 25 日
第 43 回全国高等学校教頭会 総会・研究協議大会	教育改革の推進とその充実	2004 年 7 月 29 日
公金調達制度を考えるシンポ ジウム	和歌山県の公金調達制度を 考える ～地方の公金調達の未来に 向けて～	2007 年 5 月 18 日
地域中小企業サポーターズサ ミット in わかやま	1. 地域資源を活用し、どの 様に商品を作るのか 2. 新たな商品の販路拡大、 需要開拓、マーケティング	2007 年 6 月 30 日
社会経済研究所シンポジウム	『アジアの発展と日本の将 来について』	2007 年 11 月 27 日
第 4 回近畿 6 府県議員交流 フォーラム 第 2 分科会（観光）	〈観光振興〉による〈地域 再生〉の可能性 ～地域間〈連携〉と〈協争〉 の枠組み～	2008 年 1 月 22 日
シンポジウム「紀南地域の活 性化を目指して」	紀南地域の活性化を考える	2008 年 3 月 22 日

— ゲストコメンテーターとして参加 —

わかやま観光産業推進会議シ ンポジウム	観光振興への取り組み・持 論・提言、今後の抱負につ いて	2005 年 3 月 11 日
------------------------	------------------------------------	--------------------